

## 事業評価の結果（内容評価項目）

福祉サービス種別 救護施設  
施設名 救護施設 八ヶ岳寮

○判断基準の「a、b、c」は、評価項目に対する到達状況を示しています。  
 「a」評価・・・よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態  
 「b」評価・・・aに至らない状況＝多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
A	1 支援の 基本と 権利擁護	(1) 支援の基本	① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 1 利用者の自己決定を尊重するエンパワメントの理念にもとづく個別支援を行っている。</li> <li>■ 2 利用者の主体的な活動については、利用者の意向を尊重しながら、その発展を促すように支援を行っている。</li> <li>■ 3 趣味活動、衣服、理美容や嗜好品等については、利用者の意思と希望や個性を尊重し、必要な支援を行っている。</li> <li>■ 4 生活に関わるルール等については、利用者と話し合う機会（利用者同士が話し合う機会）を設けて決定している。</li> <li>■ 5 利用者一人ひとりへの合理的配慮が、個別支援や取組をつうじて具体化されている。</li> <li>■ 6 利用者の権利について職員が検討し、理解・共有する機会が設けられている。</li> </ul>	<p>○職員は、利用者が選択できるような声掛けをし、アセスメントを行い、自己決定を尊重した個別支援計画になるよう努めています。</p> <p>○美容、買物、行事・レクリエーション、余暇時間の活用、外出、趣味活動等の計画があり、利用者の要望を聞き、必要な支援を行っています。</p> <p>○利用者の尊重と権利を守る視点を人権擁護マニュアル等で再確認し、利用者が豊かな生活が実現できるよう、個別支援の更なる取り組みに期待します。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		② 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。		b)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 7 利用者の心身の状況、生活習慣や望む生活等を理解し、一人ひとりの自律・自立に配慮した個別支援を行っている。</li> <li>■ 8 利用者が自力で行う生活上の行為は見守りの姿勢を基本とし、必要な時には迅速に支援している。</li> <li>■ 9 自律・自立生活のための動機づけを行っている。</li> <li>■ 10 生活の自己管理ができるように支援している。</li> <li>■ 11 行政手続、生活関連サービス等の利用を支援している。</li> <li>■ 12 必要に応じて他法による福祉サービスを利用できるよう支援している。</li> <li>■ 13 利用者が死亡した際の手続き等を確認し、適切に実施している。</li> </ul>	<p>○日々の様子や心身の状況に合わせ見守り、金銭の自己管理を希望する場合等は、小遣い帳の記載から始める等して、具体的に自律・自立に配慮した支援に努めています。担当職員が交代する都度、精神的な負担を感じる様子が伺えました。</p> <p>○亡くなった際の手続き、各種の手帳の申請・更新手続き、銀行等の対応は生活相談員が行っています。</p> <p>○一人ひとりの自立・自律に配慮した個別支援を目指して、利用者を尊重した標準的な実施方法やマニュアル・手順等の作成が期待されます。</p>
		③ 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。		b)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 14 利用者の心身の状況に応じて、さまざまな機会や方法によりコミュニケーションがはかられている。</li> <li>■ 15 コミュニケーションが十分ではない利用者への個別的な配慮が行われている。</li> <li>■ 16 意思表示や伝達が困難な利用者の意思や希望をできるだけ適切に理解するための取組を行っている。</li> <li>■ 17 利用者のコミュニケーション能力を高めるための支援を行っている。</li> <li>■ 18 必要に応じて、コミュニケーション機器の活用や代弁者の協力を得るなどの支援や工夫を行っている。</li> </ul>	<p>○障がいの程度に応じて筆談、解り易い言葉に置き換えて話す等工夫をしています。また、コミュニケーションが十分でない利用者は、家族、福祉事務所職員等の協力を得ています。</p> <p>○コミュニケーションを図るための日課を定めていますが、会議等で充分時間が取れないため、職員は機会ある毎にコミュニケーションを取るよう心掛けていますが、利用者・職員は時間が足りない様子です。自己実現や自己決定を尊重した支援となるよう、一人ひとりのコミュニケーションについて評価・見直しをする取り組みが期待されます。</p>
		④ 利用者の自己決定を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。		b)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 19 利用者が職員に話したいことを話せる機会を個別に設けている。</li> <li>■ 20 利用者の選択・決定と理解のための情報提供や説明を行っている。</li> <li>■ 21 利用者の自己決定の支援を適切に行っている</li> <li>■ 22 相談内容について、関係職員による検討と理解・共有を行っている。</li> <li>■ 23 相談内容をもとに、個別支援計画への反映と支援全体の調整等を行っている。</li> </ul>	<p>○利用者からの意見・要望・苦情等は、傾聴をして記録しています。また、事業所第三者委員による相談日を設けています。</p> <p>○個別支援会議で話し合われた利用者の希望等は、個別支援計画に反映して各棟職員ミーティングや職員会議で検討し、共有を図っています。</p> <p>○担当職員は、利用者と個別に話せる時間を持つように努めていますが、利用者と話せる時間に限界がある様子です。利用者信頼関係を深め、希望や思いを表明して、自己決定や自己選択を図る機会として、個別の相談時間を確保する等の取り組みが望まれます。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
			⑤ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 24 個別支援計画にもとづき利用者の希望やニーズにより選択できる日中活動(支援・メニュー等)の多様化をはかっている。</li> <li>■ 25 利用者の状況に応じて活動やプログラム等へ参加するための支援を行っている。</li> <li>■ 26 利用者の意向にもとづく余暇やレクリエーションが適切に提供されている。</li> <li>■ 27 文化的な生活、レクリエーション、余暇及びスポーツに関する情報提供を行っている。</li> <li>■ 28 地域のさまざまな日中活動の情報提供と必要に応じた利用支援を行っている。</li> <li>■ 29 個別支援計画の見直し等とあわせて日中活動と支援内容等の検討・見直しを行っている。</li> </ul>	<p>○個々のニーズや心身状態に合わせて、2グループの活動が用意され、オリジナル製品作成、カラオケ、マージャン等のレクリエーション、調理、外出支援など多彩な内容で支援がされ、作品や絵画、陶芸等を寮内に展示をしています。</p> <p>○室内作業は地域の事業者3社から内職が提供され、一人ひとりの希望、状況に合わせて参加できるように支援しています。</p> <p>○買物や施設行事、交流会行事、地域運動会、文化祭、コンサート等に参加して、地域住民、他施設利用者との交流が図られています。また、支援内容の見直しがされています。</p>
			⑥ 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 30 利用者の居室や日中活動の場等は、安心・安全に配慮されている。</li> <li>■ 31 居室、食堂、浴室、トイレ等は、清潔、適温と明るい雰囲気を保っている。</li> <li>■ 32 利用者が思い思いに過ごせるよう、また安眠(休息)できるよう生活環境の工夫を行っている</li> <li>■ 33 他の利用者に影響を及ぼすような場合、一時的に他の部屋を使用するなどの対応と支援を行っている。</li> <li>■ 34 生活環境について、利用者の意向等を把握する取組と改善の工夫を行っている。</li> </ul>	<p>○環境美化委員会を中心に快適で安全・安心な生活環境に関して検討し、利用者の身体状況に合わせて和室から洋室に計画的に改修等を行い、生活しやすい環境づくりを目指しています。</p> <p>○居室は、静養室の活用、居室の組み合わせ等、利用者の要望を聞きながら行っています。</p> <p>○快適性を重視して、改修工事が進められてきていますが、部屋の向きなどにより寒い居室がある様子です。今後、湿・温度管理等をして四季を通して快適な生活環境作りへの継続的な取り組みが望まれます。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
		(2) 権利侵害の防止等	① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	c)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 35 権利侵害の防止等のために具体的な内容・事例を収集・提示して利用者に周知している。</li> <li>■ 36 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。</li> <li>■ 37 原則禁止される身体拘束を緊急やむを得ない場合に一時的に実施する際の具体的な手続と実施方法等を明確に定め、職員に徹底している。</li> <li>■ 38 所管行政への虐待の届出・報告についての手順等を明確にしている。</li> <li>■ 39 権利侵害の防止等について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。</li> <li>■ 40 権利侵害が発生した場合に再発防止策等を検討し、理解のもとで実践する仕組みが明確化されている。</li> </ul>	<p>○身体拘束に関して「救護施設ハケ岳寮施設利用確約書」に記載され、関係書類が整い、拘束解除に向けた取組を拘束委員会を中心に取り組んでいます。</p> <p>○職員は、権利侵害に関するチェックリストを実施して自己評価をし、虐待防止委員会では「虐待防止策及び虐待通報対応マニュアル」を作成し、広域連合人権擁護マニュアルと合せて職員研修を予定しています。</p> <p>○各種マニュアルを全ての職員が共有し、虐待等の権利侵害の防止、発生時の対応等の徹底した取り組みが期待されます。</p>
	2 生活 支援	(1) 日常的な生活支援	① 利用者の障がい・疾病等の状況に応じた適切な支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 41 職員は支援に必要な専門知識の習得と支援の向上をはかっている。</li> <li>■ 42 利用者の障がい等による行動や生活の状況などを把握し、職員間で支援方法等の検討と理解・共有を行っている。</li> <li>■ 43 利用者の不適応行動などの行動障がいに関し、個別的かつ適切な対応を行っている。</li> <li>■ 44 行動障がいなど個別的な配慮が必要な利用者の支援記録等にもとづき、支援方法の検討・見直しや環境整備等を行っている。</li> <li>■ 45 利用者の障がい等の状況に応じて利用者間の関係の調整等を必要に応じて行っている。</li> </ul>	<p>○職場内学習会、外部研修会を通して支援方法、障がい・疾病に関する知識を習得しています。</p> <p>○話しやすい環境にして個別面談を行い、ニーズを聴き、アセスメントをし、その後、棟ミーティング、支援会議で支援方法について話し合い、一人ひとりの支援方法を共有しています。また、配慮が必要な支援に関しては、かかりつけ医などからの助言を反映しています。</p> <p>○利用者間の調整は、職員が中に入り話し合いを持ち、必要に応じて居室変更等を行っています。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
			② 利用者の心身の状況に応じた日常生活支援を行っている。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 46 利用者の心身の状況に応じて入浴支援や清拭等を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 47 利用者の心身の状況に応じて排せつ支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 48 利用者の心身の状況に応じて移動・移乗支援を行っている。	<p>○食事、入浴、排せつ支援に関しては各棟ごとに、利用者に応じた支援となるよう支援回数・時間、声掛け、見守り、支援方法が文書化し、利用者の体調変化に伴い見直しをしています。また、移動に必要な車いす、歩行器は、利用者の希望や身体状況に合わせて提供をしています。また、移乗移動に関する支援内容の文書化も望まれます。</p> <p>○心身の状況に合わせた支援について利用者の意見・要望を踏まえ、利用者を尊重をした標準的な実施方法の作成が望まれます。</p>
			③ 利用者の嗜好や心身の状況にあわせて食生活を支援している。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 49 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として、おいしく食べられるように工夫されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 50 食事を選択できるよう工夫している。 <input checked="" type="checkbox"/> 51 食事の環境と雰囲気づくりに配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 52 利用者の心身の状況に応じて食事の提供と支援等を行っている。 <input type="checkbox"/> 53 誤嚥、窒息など食事中の事故発生の対応方法や衛生管理の体制を確立し、日頃から確認と徹底を行っている。	<p>○食事アンケートの実施、嗜好調査の結果に基いて献立を立てています。外食、弁当、人気メニュー等を取り入れ、おやつの寮内販売を実施しています。</p> <p>○給食委員会では、献立、検食の検証、食事形態、食事中の見守り等検討しています。一方、摂食嚥下障害看護認定看護師が様子を見て嚥下指導、職員研修を行っています。</p> <p>○事故発生時は、看護師に報告していますが、食事中の事故発生時の手順、マニュアル等の作成が望まれます。</p>
	(2) 機能訓練・生活訓練	① 利用者の心身の状況に応じた生活訓練や機能訓練を行っている。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 54 生活動作や行動のなかで、意図的な機能訓練・生活訓練や支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 55 利用者が主体的に機能訓練・生活訓練を行えるよう工夫している。 <input checked="" type="checkbox"/> 56 利用者の障がいの状況に応じて専門職の助言・指導のもとに機能訓練・生活訓練を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 57 利用者一人ひとりの計画を定め、関係職種が連携して機能訓練・生活訓練を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 58 定期的にモニタリングを行い、機能訓練・生活訓練計画や支援の検討・見直しを行っている。	<p>○障がいの状況に応じて、かかりつけ医、通院先の医療機関から専門的な助言・指導を受けて、委託先の病院から理学療法士が訪問し、機能回復訓練をして定期的に評価・見直し、訓練日誌を基に検討会をして職員で共有をしています。</p> <p>○職員は、理学療法士から機能訓練に関する研修を受け、ラジオ体操、屋外・室内ウォーキング等を実施しています。</p> <p>○機能・生活訓練の状況確認、機能訓練計画、モニタリング、変更後の計画は、個別支援計画に適切に連動した取り組みが期待されます。</p>	

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(3) 健康管理・医療的な支援	① 利用者の健康管理の支援と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 59 日頃から支援のさまざまな場面をつうじて、利用者の健康状態の把握に努めている。</li> <li>■ 60 医師又は看護師等による健康相談や健康面での説明の機会を定期的に設けている。</li> <li>■ 61 利用者の障がい・疾病の状況にあわせた健康管理の支援や健康の維持・増進のための工夫を行っている。</li> <li>■ 62 利用者の体調変化等における迅速な対応のための手順、医師・医療機関との連携・対応を適切に行っている。</li> <li>■ 63 利用者の健康管理等について、職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。</li> </ul>	<p>○職員は「健康で安全な生活を目指す」を目標に利用者からの訴え・相談に応じ、体調管理、体調の変化に迅速な対応に努めています。また、健康状態に関する記録は個別ファイルされ、看護記録が把握できるシステムにあり、健康に関する情報は職員に共有されています。</p> <p>○救急車対応（病気、ケガ、事故）休日夜間緊急対応マニュアルが作成されています。</p> <p>○利用者の障害、疾病の状況に合わせた健康管理に対する職員研修、必要に応じてピンセットの使用方法等を職員に個別指導をしています。</p>
			② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 64 医療的な支援の実施についての考え方(方針)と管理者の責任が明確であり、実施手順や個別の計画が策定されている。</li> <li>■ 65 服薬等の管理(内服薬・外用薬等の扱い)を適切かつ確実に行っている。</li> <li>■ 66 慢性疾患やアレルギー疾患等のある利用者については、医師の指示にもとづく適切な支援や対応を行っている。</li> <li>■ 67 利用者の通院、入院などを適切に支援している。</li> <li>■ 68 医師や看護師の指導・助言のもと、安全管理体制が構築されている。</li> <li>■ 69 医療的な支援に関する職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。</li> </ul>	<p>○年間健康管理計画に添って利用者の健康管理がされています。</p> <p>○利用者の高齢化に伴う誤嚥等に伴い救急手当が必要になってきており、救急手当講習、AEDを用いた心肺蘇生法の実技を受けて全職員が対応できるようにしています。また、配薬マニュアル、内服一覧表に基づき、看護・介護職が連携して配薬をしています。</p> <p>○感染症等対策委員会では、感染予防・防止に関する対応マニュアルに基づき対策を講じて、保健所からの情報を受けて全職員で取り組んでいます。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
	3 自立支援	(1) 社会参加の支援	① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加のための支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 70 利用者の希望と意向を把握し、社会参加に資する情報や学習・体験の機会を提供する等、社会参加への支援を行っている。</li> <li>■ 71 利用者の外出・外泊や友人との交流等について、利用者を尊重して柔軟な対応や支援を行っている。</li> <li>■ 72 利用者の希望と意向を尊重して資格取得等の学習支援を行っている。</li> <li>■ 73 利用者の社会参加の意欲を高めるための支援と工夫を行っている。</li> </ul>	<p>○投票に出掛ける、地域の花壇作り、交通安全の啓発運動等に参加する等、利用者の希望を大切に社会参加ができる機会を設けています。</p> <p>○日帰り旅行、他施設交流会に出掛ける、地域のクリーンウォーク、運動会、文化祭など本人の意向を尊重しながら参加し、絵画等の作品を利用者の意向で、地域の展覧会に出展をしています。</p> <p>○映画鑑賞、買物、外食、墓参り等を希望された場合は、職員は柔軟な対応に努めて個別に支援をしています。</p>
		(2) 就労支援	① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行って	b)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 74 利用者一人ひとりの働く力や可能性を引き出すような取組や工夫を行っている。</li> <li>■ 75 利用者一人ひとりに応じた就労支援を行っている。</li> <li>■ 76 利用者の意向や障がいの状況にあわせて、働くために必要なマナー、知識・技術の習得や能力の向上を支援している。</li> <li>■ 77 働く意欲の維持・向上のための支援を行っている。</li> <li>■ 78 仕事や支援の内容について、利用者と定期的に話し合いを行っている。</li> <li>■ 79 地域の企業、関係機関、家族等との連携・協力のもとに就労支援を行っている。</li> </ul>	<p>○生活相談員、担当職員は、就労に関する意向を大切に、本人・家族の意向を反映し、個別支援計画の作成をして支援をしています。</p> <p>○担当職員が中心になり、内職や、企業での就労について希望や意向を把握して、利用者一人ひとりに応じて内職、近隣企業の紹介等をして就労できる支援に努めています。</p> <p>○居宅訓練事業推進委員会は、地域の企業、ハローワーク等の関係機関と連携して就労に関する情報収集を行い就労支援に努めています。引き続き「働く」ことについての思いや希望を理解し、働く可能性を尊重した就労支援を行う取り組みが期待されます。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着 眼 点	コメント
		(3) 家族等との連携・支援	① 利用者の家族等との連携と支援を適切に行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 80 家族等との連携・交流にあたっては、利用者の意向を尊重して対応を行っている。</li> <li>■ 81 利用者の生活状況等について、定期的に家族等への報告を行っている。</li> <li>■ 82 利用者の生活や支援について、家族等と交流する機会を設けている。</li> <li>■ 83 家族等からの相談に応じ、必要に応じて助言等の家族支援を行っている。</li> <li>■ 84 利用者の体調不良や急変時の家族等への報告・連絡ルールが明確にされ適切に行われている。</li> <li>■ 85 帰省(外泊等)中の利用者と家族等の支援を行っている。</li> <li>■ 86 利用者の生活と支援に関する家族等との連携や家族支援についての工夫を行っている。</li> </ul>	<p>○定期的に家族に寮生活や事業・計画の報告を送付し、必要に応じて個別に電話や手紙を出す等の支援をし、家族懇談会の開催、金銭管理報告をしています。また、生活相談員が中心となり家族の面会、行事参加、面談等の連絡調整を行い、家族と関わりが少ない利用者に関しては、福祉事務所等と連携して家族との連携を図る支援をしています。</p> <p>○更に利用者の生活の質を高めるため、利用者の家族等との連携・交流の実施、家族の生活や支援に関する悩みに応えるための支援が期待されます。</p>
		(4) 地域生活への移行と地域生活の支援	① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 87 利用者の希望と意向を把握し、地域生活に必要な社会資源に関する情報や学習・体験の機会を提供している。</li> <li>■ 88 利用者の社会生活力と地域生活への移行や地域生活の意欲を高める支援や工夫を行っている。</li> <li>■ 89 地域生活への移行や地域生活について、利用者の意思や希望が尊重されている。</li> <li>■ 90 地域生活への移行や地域生活に関する課題等を把握し、具体的な生活環境への配慮や支援を行っている。</li> <li>■ 91 地域生活への移行や地域生活のための支援について、地域の関係機関等と連携・協力している。</li> </ul>	<p>○居宅生活訓練事業推進委員会では、利用者の意向に基づいて地域生活への移行に向けて生活・就労に関する課題を明確にして個別支援計画に基づいて取り組んでいます。</p> <p>○訓練用のアパートを確保して、家庭、福祉事務所、障害者総合支援センターなどの関係機関と連携して地域生活の移行、地域生活支援を行っています。</p> <p>○「居宅生活訓練」に関して毎月、推進委員会・処遇会議を開催して、ハローワーク等への就職活動を含めた就労支援・生活訓練などの評価・見直しをしています。今後も利用者の生活や住まいへの希望と意向を尊重し、住み慣れた地域生活が継続できるよう関係機関や社会資源等の連絡・調整と支援を進めることが更に期待されます。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
	4 地域の生活困窮者支援	(1) 地域の生活困窮者等の支援	① 地域の生活困窮者等を支援するための取組や事業を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 92 地域の生活問題や生活困窮者等について、職員の学習や協議する機会を設けている。</li> <li>■ 93 地域の生活困窮者等の支援について、地域の関係機関や他の福祉施設・事業所と情報交換している。</li> <li>■ 94 生活困窮者等の支援における救護施設の専門性や支援ノウハウを関係機関等と共有している。</li> <li>■ 95 地域の生活困窮者等を支援するための事業・活動を実施している。</li> <li>■ 96 地域の生活困窮者等の支援ネットワークの構築や事業・活動に参画・協力している。</li> </ul>	<p>○生活困窮者支援の一環として緊急一時保護支援を実施しています。保護施設通所事業に関して圏域の福祉事務所で説明会を実施し、将来的に必要な支援と認識して継続して取り組む姿勢が「はつらつプラン」に示されています。また、職員は、生活困窮者について研修を受けて理解を深めています。</p> <p>○「はつらつプラン」に救護施設が有する機能役割等を活かした支援を地域連携による相談業務連携体制の必要性、整備等が具体的に示されています。今後も継続的に地域の関係機関と連携して事業の具現化に向けた取り組みが期待されます。</p>